

滋賀県労働者福祉協議会
 日本労働組合総連合会 滋賀県連合会
 近畿労働金庫滋賀地区統括本部
 全労済滋賀推進本部
 滋賀県労働者住宅生活協同組合
 滋賀県生活協同組合連合会
 ユ・メディア株式会社

滋賀県労働福祉新聞

豊かなくらし

滋賀県労働福祉新聞
 豊かなくらし 第709号(改題544号)
 平成29年11月15日発行(毎月1回15日発行)
 編集 大津市打出浜2番1号
 コラボしが21 6階(〒520-0806)
 発行人 (社)滋賀県労働者福祉協議会
 山田 清
 TEL 077-524-6290・FAX 523-4070
 URL <http://www.s-rofuku.com>
 E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
 印刷所 ユメディア株式会社

～「2017年度生活底上げ・福祉強化キャンペーン」始まる～

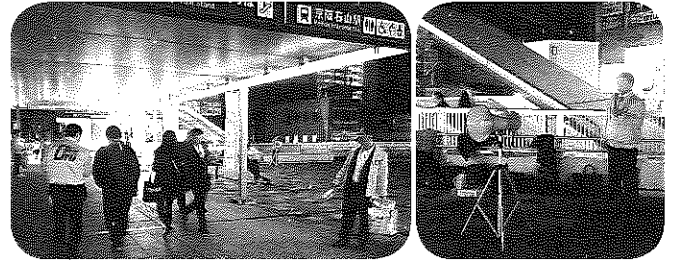
2016年のキャンペーンでは、奨学金制度の改善に向けた「第3ステージの取り組み」を重点的に展開した事により、連合をはじめ生協や市民団体、NPO、弁護士など従来以上に連携・ネットワークを広げ、集会、学習会、街頭宣伝行動において運動の展開がなされました。取り組みは世論を高め、結果、第193通常国会において、給付型奨学金制度の創設を盛り込んだ日本学生支援機構法改正法が成立し、2017年4月から先行実施(2018年4月より本格実施)されることとなりました。しかし、支給対象者は限定的であり、給付金額はあまりにも少なく、制度をさらに拡充していくことが今後の課題となっています。

そして、今年度は全国の仲間と共に、以下3つの課題に取り組んでまいります。

1. 労働者自主福祉事業の利用促進と共助拡大
2. 生活・就労支援の強化と各種支援制度の拡充
3. 奨学金制度のさらなる改善・拡充と教育費負担の軽減

中でも、1.について、自らがつくり育ててきた労働者福祉事業の歴史を踏まえ、改めて労働運動の一環として位置づけるべく特に重点的に取り組みを進めます。

今日、格差と貧困の問題をはじめ労働分野の規制緩和の動き、非正規雇用の増加、人口減少・超高齢社会の進展等、はたらく仲間とその家族を取り巻く環境は引き続き困難な状況にあります。勤労者の身近な助け合いである労金・全労済・住宅生協などの福祉事業団体が、労働組合・組合員自身の運動である事を再確認するとともに、労働者自主福祉事業の役割と使命を原点に立ち返って考え、公助・共助・自助のバランスある社会の実現に向けて、積極的に運動を展開することが求められています。先輩たちが育て上げ、生活に大きく貢献してきた労働者自主福祉運動を充実させ、次世代の仲間たちに引継、人材の育成と運動の拡大を共に進めていきましょう。



(11/6(月) 大津地区労福協・街頭キャンペーンの様子)

～2017年度中部労福協研究集会～が開催されました

10月11日～12日、和歌山市において、2017年度の中部労福協研究集会が開催されました。本年度は「生活困窮」をテーマとして、55名(滋賀から3名)が参加しました。

冒頭、中部労福協小林会長より「異常気象が続く日本列島ですが、災害時の労働者間の支え合いの重要性を感じます。又、子どもの貧困対策も関係団体と連携を取りながら取り組まなければなりません」とご挨拶をいただきました。

集会1日目は開催地特別講演として和歌山大学災害科学教育研究センター客員教授後誠介氏より、「水と大地に育まれた自然と文化に出会う」演題でご講演を頂きました。紀伊半島の地質が熊野の溪谷やジオパークをつくり世界文化遺産として認められたという神秘的な内容でした。

続いて、フードバンクふじのくにの鈴木和樹事務局次長より「多様な協働でつくるフードバンク活動」と題し、生活保護ではない、多様な支援方法が選べる社会・セーフティネットの構築の必要性について講演いただきました。

2日目はNPO法人CPAOの徳丸ゆきこ代表より「子どもの貧困と孤立」についての講演で、子どもの貧困は実態調査が重要で、国や自治体が何をすべきか、そして誰もが自由にSOSを出せる共生型社会づくりが重要だという内容でした。

地域に根ざした支え合いの大切さや、我々に今できることを改めて見つめなおす2日間となりました。



みんなで労働者自主福祉事業を 利用し、共助の輪を広げよう!

- 何かあったときはおたがいさま!
はたらく仲間の助け合い・支え合いを!
- 労働組合と協同組合(ろうきん・全労済・生協)が
地域と働く者の未来をつくる存在になろう!
- 「わたしの安心はみんなの安心、
みんなの安心はわたしの安心」





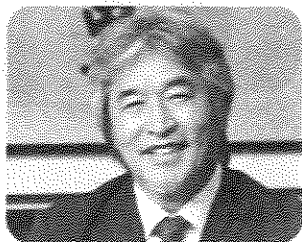
滋賀県労福協

多重債務や自然災害から家族を守ろう! **2017 生活底上げ・福祉強化キャンペーン**

【いま、「協同」が創る2017全国集会】 が滋賀で開催されました！

2017年10月7日(土)～8日(日)の二日間、滋賀県において「協同」が創る2017全国集会在開催されました。

初日10月7日の全大会は、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大ホールで開催されました。冒頭、共同代表溝口弘氏による主催者を代表しての挨拶と、三日月大造滋賀県知事による来賓挨拶を受け、集会在進行されました。記念講演では、京都大学総長の山極壽一氏による、ゴリラの社会が人間の社会の基本であるという調査結果に基づいた「人間社会の起源から協同の価値と希望を探る」と題した講演で、社会とは集団の規模によってコミュニケーションが違い、経済も違ってくる。よって、人間は協同して、変化に応じ社会を構築してい



(京都大学総長 山極壽一氏)

かねばならないというものでした。続いてのパネルディスカッションでは、コーディネーター藤井絢子氏、コメンテーター広井良典氏のもと、4人のパネリストがそれぞれの活動報告と、今後の展望について論議を交わしました。最後に、永戸祐三氏(日本労働者協同組合連合会名誉理事)と藤井絢子氏の2人の絶妙な掛け合いで総括され一日目を終了しました。

二日目は場所を龍谷大学瀬田キャンパスに移し、23か所の分科会が開催されました。高齢者や若者の居場所づくりや障がい者と共に働く意義について、地域に根ざしたモノづくりやエネルギー事業等々の分科会が開催され、全国より1千人以上の方が参加されました。

今回の全国集会在期に、協同労働について滋賀県から全国へと活動や情報発信すると共に、参加した我々も国連のSDGsを踏まえ「誰一人取り残さない社会」を共に考えるきっかけとなりました。

～第63回滋賀県勤労者美術展～ を開催します。

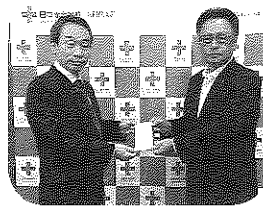


会期：2018年3月20日(火)～3月25日(日)
会場：草津市立草津クレアホール内「展示ホール」にて
※みなさまのご出展をお待ちしております※
募集要項の送付を希望される方は、下記までご連絡ください。
問合せ先：(一社)滋賀県勤労者福祉協議会 TEL077-524-6290 担当：渡邊

第33回チャリティゴルフコンペ ～集まったチャリティ金は164,431円～

台風22号が過ぎ去った10月30日(月)、肌寒い風が吹く中、甲賀カントリー倶楽部にて、恒例のチャリティゴルフコンペが開催されました。

24組85名の参加者の皆様は、お忙しい中日程調整いただき、チャリティにご協力いただきました。



皆さまからの164,431円のチャリティ金は、翌日10月31日に日本赤十字社滋賀県支部の「平成29年7月5日からの九州北部『大雨災害義援金』」に10万円、県下のボランティア活動・地域福祉振興のため、滋賀県社会福祉協議会の「ふれあい基金」に64,431円を寄付いたしました。

ご協力ありがとうございました。

あしたば会2017年度研修旅行 ～inダイヤモンドしが～

労働福祉事業団体OB会「あしたば会」研修旅行が11月1日(水)・2日(木)に実施されました。本年度の参加は、ご夫婦での参加二組を含めた14名でした。季節外れの台風も過ぎ去り、両日とも絶好の旅行日和となりました。



一日目は木々も彩り始めた自然あふれる中でグランドゴルフを行い、皆で気持ちいい汗を流しました。夕食会冒頭には、各事業団体の代表より現況報告と今後の事業展開への協力を要請され、現役・諸先輩方々の間で労働者自主福祉事業の利用促進、共助拡大、協同の大切さについても話が弾みました。二日目は、「地元の歴史を学ぶ」という新しい企画として、地元のボランティアガイドさんに随行いただき、甲賀市水口神社周辺の歴史や文化を学びながら2時間近く散策しました。ここ数年、研修旅行への参加者が会員総数の1割に満たない状況となっていますが、新しい企画等も考えながら、一人でも多くの仲間と交流を深め、ともに高め合える機会となるよう、工夫していきたいと思ひます。



ライズヴィル都賀山の

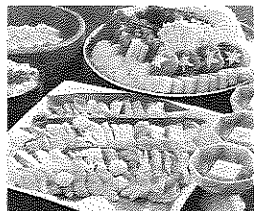
今年のいちおし!

近江しゃもすきやき

冬鍋

滋賀県特産
高品質地鶏

滋賀県畜産センターで研究、
開発された高級鶏です。



優れた交配種と飼育環境の良さが味・コク・歯ごたえ・栄養バランスを保証

どれをとっても一級品です。
ぜひ一度ご賞味ください!

.....4,000円

ちゃんこ鍋	3,400円
蔵尾ポークしゃぶしゃぶ	3,900円
特得鍋	3,900円
とんこつスープ鍋	3,900円
寄鍋	3,900円
鍋会席	5,400円

フリードリンクプラン お一人様2時間 1400円より
瓶ビール・ノンアルコールビール・ウーロン茶・オレンジジュース

ご予約・お問い合わせは 077-583-7181

JR守山駅
東口

一般財団法人 守山野洲市民交流プラザ
Riseville 都賀山
〒524-0033 守山市浮気町300-24

地区労福協だより

(大津地区労福協)

“大津祭” 曳山ボランティアに参加

去る10月8日(日)、歴史ある湖国三大祭の一つ“大津祭”の本祭・曳山巡行が行われ、多くの観光客でにぎわいました。今年も大津地区労福協からは13単組22名が曳山ボランティア



として参加、「郭巨山」を担当して大津駅前を巡行しました。天孫神社を朝9時に出発し、「コンコンキッチン」の囃子とともに、夕方まで丸一日をかけて町屋を練り歩きました。

“大津祭”は天孫神社の祭礼で、山王祭(日吉大社)、船幸祭(建部大社)とともに湖国三大祭と呼ばれています。江戸時代から三百有余年継承されてきた伝統と歴史を誇るお祭で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。13基ある三輪の曳山に中国故事や能・狂言を題材とした絡繰り(からくり)が施されているのが特徴です。当時の一流細工師による精巧な作りで、日本芸能史上においても注目されている一品ばかり。大勢の見物客の目を惹きつけていました。曳山が町内へ戻るところにはすっかり辺りも暗くなり、参加いただいた皆さんも一様に疲れた表情でしたが、大津町人文化に触れることができたという満足感と、無事に曳き終えたという充実感でいっぱいでした。これからも、大津地区労福協はこの伝統を守り伝えていくために協力していきたいと思えます。

ご協力いただきました組合員の皆さん、本当にありがとうございました。来年は、あなたも参加してみませんか？

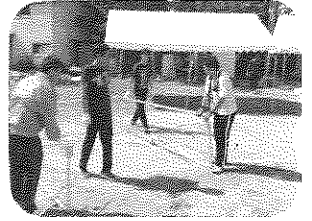
(事務局長 八幡大介)

(湖南甲賀地区労福協)

知的障がい者更生施設『一麦(いちばく)』

2017 運動会 ボランティア参加の報告

10月8日、9日の2日間、湖南市にある知的障がい者更生施設「一麦(いちばく)」の運動会ボランティアに参加しました。今年で3年連続の参加になります。8日は前日準備でテント張りや草刈り、椅子運びを行い、10日は駐車場係、寮生や来場者に配布する弁当の袋詰め、後片付けなどをお手伝いし、2日間で4労組、のべ15人の参加が得られました。



この運動会は、施設ができた1年目から続いて今年で56回目を迎えました。ここで生活する寮生の平均年齢も高くなっているようですが、元気で明るい方が多く、普段から職員と寮生の関係が良好なんだと感じます。当日は秋晴れの空の下、寮生の家族や我々ボランティアも飛び入りで競技に参加して、温かい雰囲気で行われました。ボランティア参加者には今年初めて来られた方も何人かいて、当日の運動会への参加を通して、「とてもやりがいがあった、参加できてよかった。」と言って帰ってくれました。来年もより参加者の輪を広げていきたいです。(事務局長 渡辺大平)

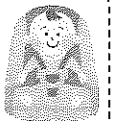


平成 29 年年末の交通安全県民運動

12月1日(金)～12月31日(日)

【運動の重点】

1. 高齢ドライバーを含む高齢者と子どもの交通事故防止
2. 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の安全確保 (特に、歩行者の反射材着用の推進及び自転車の前照灯点灯の徹底)
3. 全席シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
4. 飲酒運転の根絶



家族の成長に合わせて、ぴったりな保障をご用意。

- 医療タイプ
- 巨額安心タイプ
- 終身医療5000
- 総合タイプ
- 総合2倍タイプ
- 大型タイプ
- ひまわりプラス
- 生きる安心タイプ
- 国語安心タイプ
- シニア総合タイプ
- シニア医療タイプ
- シニア国語安心タイプ
- キッズタイプ
- ファミリータイプ
- 国語安心かんたんプラン

こくみん共済

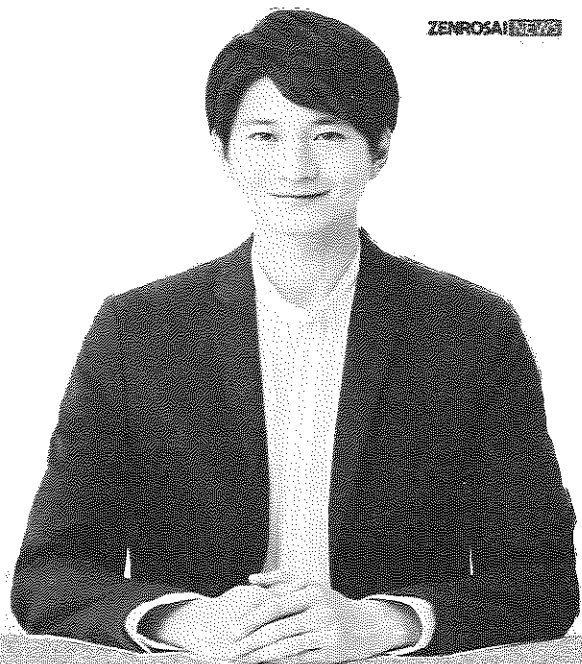
個人型国民共済 ことくみん共済 労働者共済 国語共済 個人型医療共済 国語共済 個人型国民共済



保障のことなら

全労済

全労済は、富利を目的としない保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。



ZENROSAI 全労済

<お問い合わせと資料のご請求は…>

全労済 滋賀推進本部

(滋賀県勤労者共済生活協同組合)

<http://www.zenrosai.coop>

大津支所 〒520-0801 大津市におの浜 4-5-1 2517S006

TEL 077-524-6031

彦根支所 〒522-0074 彦根市大東町 4-28 彦根勤労福祉会館 2 階

TEL 0749-24-6605

【営業時間】 9:00～17:00 【休日】 土・日・祝日・年末年始